

## 令和4年度教育・保育の自己評価

### ○令和4年度重点取組

- ・保育理念や保育方針を基に、地域や保護者の実態・ニーズの状況等を考慮しながら、生活や遊びを通して知識や思考力、学びに向かう姿勢など生きる力の基礎を育んでいく。
- ・主任保育士（主幹保育教諭）、中核リーダーが中心になり浄信会基本理念に基づく行動方針を定め、全職員が浄信会職員としての自覚を持ち魅力的な職場環境を作っていく。
- ・チームで保育の振り返りを行い、子どもの内面の育ちを読み取り子どもベースの保育サイクルを作り保育の質の向上を図っていく。

### ○年間目標

- ・保育ドキュメンテーションに取り組みチームで子どもの姿・育ちを語り合い子ども理解に努め、明日の保育につなげていく。
- ・支援の必要な子どもと保護者の子育て力、子育て力を引き出していくために様々な支援ツールを使って支援計画を立て実践していく。
- ・浄信会基本理念に基づく行動方針を理解し、全職員が同じ方向を向いて業務に取り組んでいけるようにする。

### <自己評価結果報告>

主な評価項目	取組状況
1. 教育・保育理念 教育・保育方針  教育・保育目標 職員の共通理解	・新年度職員会議、職員会議において、全職員に資料を配布し説明をして周知を図っています。また、職員朝礼時基本理念・保育理念を唱和しています ・クラスリーダーが中心となり、クラス会議を持ち年齢や発達段階に応じた教育・保育が実践されているか振り返りを行っています。

<p>2. 教育・保育内容</p> <p>教育・保育要領を踏まえた指導計画の作成</p> <p>保育の記録と次の指導計画へ反映ができていますか</p> <p>主体的に遊べる環境設定はできているか</p> <p>個々の子どもに合わせた発達の援助、関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育要領に基づいた指導計画の作成を行い、子どもが主体的に遊べる環境を設定して色々な遊びや活動ができるようにしています。</li> <li>・子どもの具体的な姿や写真での記録と共に保育教諭の読み取りを加えた保育ドキュメンテーションに取り組んでいます。まだ、学びの段階ではありますが、保育者同士の保育の語り・子ども理解が深まっていくようにしています。</li> <li>・子どもの遊ぶ姿や発する言葉から環境を構成することにより遊びが発展し子ども同士で語り、考え、工夫し遊びが広がっています。</li> <li>・3歳児、3歳未満児クラスでは、担当制・グループ制で教育・保育を行い、一人ひとりに丁寧な関わりができるようにしています。全てのことに丁寧な関わりと共に、基本的な生活習慣をつくる過程、手順を統一して、それに関わる全職員が共通理解のもとに行っております。少人数で流れる日課の中で、生活の見通しを持って行動できるようになってきています。また、心身ともに安定して落ち着いた生活ができています。</li> </ul>
<p>3. 保護者との連携</p> <p>子どもの発達や教育・保育について、保護者との共通理解を図っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念や目標等、今月の保育のねらいと保育実践、子どもの姿・育ちを掲載し園の教育・保育の方針、保育の内容の理解に努めています。</li> <li>・「苦情解決体制」を園内掲示や配布で知らせ、意見箱の設置もしています。保護者からのご意見・要望等は真摯に受け止め、全職員で話し合</li> </ul>

<p>保護者からの意見・要望を適切に対応しているか</p>	<p>い改善に努め、全保護者にも周知をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートを実施し多くの気づきとご意見をいただき、今後への示唆をいただきました。温かい言葉もたくさんいただき、益々こども園の使命を果たしていけるよう努めていきます。</li> </ul>
<p>4. 食事提供</p> <p>栄養士の管理のもとに食事提供されているか</p> <p>アレルギー対応が個々にされているか</p> <p>衛生自主点検が行われているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士が献立を作成し、日常的に管理しています。給食のソフト「アドム」を取り入れ活用しています。</li> <li>・アレルギー児は、医師の指示書、保護者の依頼書を基に、対応しています。栄養士、担任、保護者、園長で確認を取り合いながら行っています。</li> <li>・月1回調理師と保育教諭がミーティングを行いより良い給食提供・食育に努めています。地産の食材使用、おやつも殆ど手作りし、子どもたちの健康に配慮した給食内容になっています。</li> <li>・郷土に伝わる伝統食を提供しています。</li> <li>・毎日、衛生・安全点検を行い記録しています。</li> </ul>
<p>5. 虐待防止</p> <p>虐待等の状況は見られないか</p> <p>行政、専門機関との連携を行っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性のある事態はありません。行政、専門機関と連携し情報共有できるようにしています</li> <li>・全国保育士会から出されている保育者向けの研修用ワークブックやセルフチェックリストを活用して、子どもを尊重する保育に努めています。</li> </ul>
<p>6. 幼保小、地域交流</p> <p>地域の小学校との交流</p> <p>地域住民との交流</p> <p>園庭開放</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連絡協議会において、共通目標の下に取組を行い、滑らかな小学校入学ができるようにしています。今年度は交流会を行うことはできませんでしたが、学校に散歩に行き親しみが持てるようにしました。</li> <li>・コロナ禍で、地域の方々との交流、園庭開放はできませんでした。</li> </ul>